

Weekly 原油情勢

改定幅予想(9/25～10/1)

+0.5～+1.5

9月4週(9/16～9/22)トピックス

原油市況は、売りが優勢となっているが、総じて動意薄。市場全体に様子見ムードが広がっている。

過去トピックス

8月4週▲

原油は続伸。米エネルギー情報局(EIA)が20日公表した米原油在庫が減ったことや、ロシアがウクライナのゼレンスキー大統領との会談に慎重な姿勢を見せたことで、アジア時間でも買い戻しが入っている

9月1週▲

原油相場は小動き。強弱材料が交錯し方向感が定まっていない。トランプ大統領がロシアに対し、ウクライナとの停戦に応じなければさらに強力な制裁を加えると述べたことも、相場を支える材料となっている。

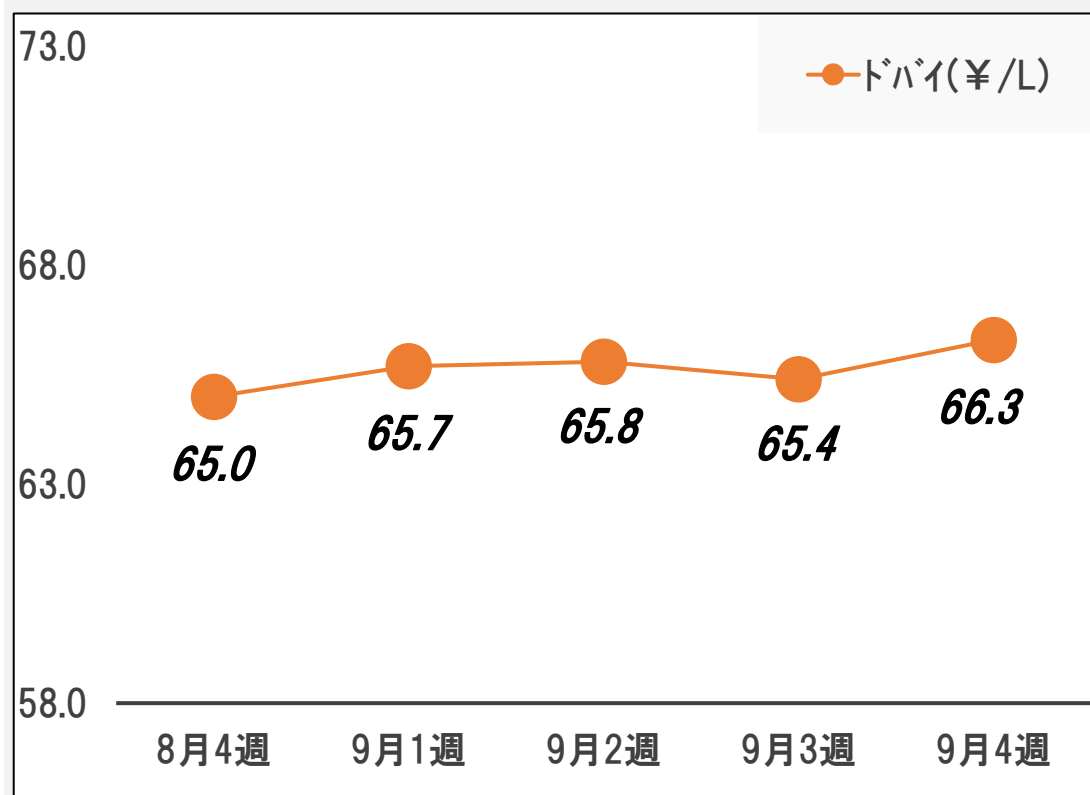
9月2週▲

原油相場は軟調。「OPECプラス」の有志8カ国が7日に開催する会合にて10月の生産量を増加されるとの観測が広がるなか、米国の原油需給の緩和感や経済悪化の懸念が強まっている。

9月3週▼

原油相場は続落。原油供給が過多になるとの懸念が根強い。2025年における世界の石油供給の見通しを日量270万バレルと、従来予想から日量20万バレル上方修正した。

価格推移表



週	期間	ドバイ(\$/バレル)	為替(TTS)	ドバイ(¥/L)	増減幅
8月4週	8/19～8/25	69.5	148.7	65.0	1.3
9月1週	8/26～9/1	70.4	148.3	65.7	0.7
9月2週	9/2～9/8	70.2	149.1	65.8	0.1
9月3週	9/9～9/15	70.0	148.5	65.4	-0.4
9月4週	9/16～9/22	71.3	148.0	66.3	0.9

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス

